

# 平成29年度「熊本県学力調査」結果(概要)

## 1

## 「分かる授業」のための効果的な取組

『分かる授業』の実現に向けて、下記の5点について取り組みましょう

- 「何を学ぶのか」が分かる「**めあて**」を提示し、解決の見通しをもてるようにする。  
※ 学習指導要領及び解説に示された内容に基づいているか確認しましょう。(移行措置の内容を含む)
- めあてに沿って、「**じっくり考え**」「**はっきり表現**」させる場を設定する。
- 基礎的・基本的な知識・技能が定着したかどうか適用問題等で確認する。定着していなければ「**きちんと教える**」場を設定する。
- 「何を学んだのか」が分かる「**まとめ**」を提示する。
- 「分かった」から「できた」へ誘う「**振り返り**」の場を設定する。

学力向上に効果のあった学校(管内)の取組より

本年度の県学力調査をもとに、これらの取組を検証すると、以下の内容に整理されます。

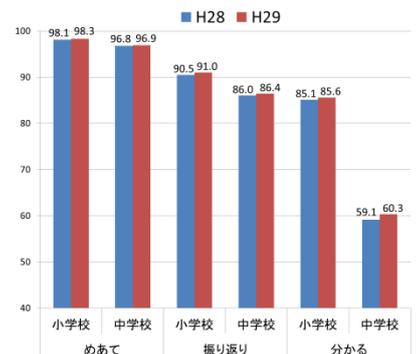
教師の意識調査によると、「めあて」を提示した教師の割合や「振り返り」の活動を行った教師の割合は前年度同様高い傾向にある。

一方、児童生徒の意識調査では、教科の学習に対する理解に課題が残っており、前年度とほぼ変わらない状況にある。

### 【取組の充実に向けて】

- 身に付けさせたい資質・能力を明確にした「めあて」の設定
- 児童生徒が分かりやすい「めあて」の設定と提示の工夫
- 児童生徒の学ぶ意欲を高める「めあて」の設定
- 学んだことを既習事項や日常生活と関連付けた「振り返り」の場の計画的な設定
- ※ 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して

参照：小学校学習指導要領解説総則編(平成29年7月文部科学省)



※ 「めあて」「振り返り」については、「よく+どちらかといえば」と回答した教師の割合

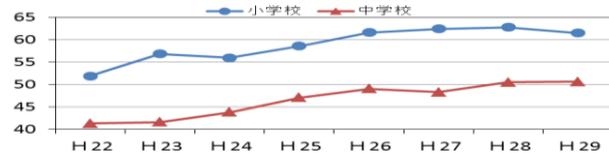
※ 「分かる」については、「とても+まあまあ」と回答した児童生徒の割合

※ 本結果(概要)は、書き込み式になっています。平成30年度の学力向上に向けた検証改善サイクルの確立に向け、自校の定着率や共通実践事項、チェックリストに直接書き込みながら、校内研修等で共有し、年間を通して活用してください。

## 意識調査(教諭・講師用)

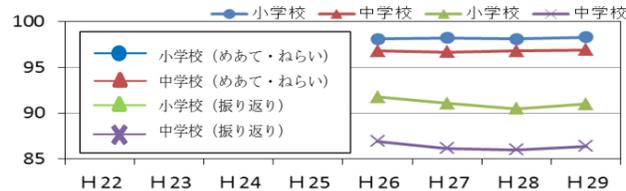
①, ②, ③の項目は、教諭・講師の意識調査の結果から抜粋したものです。数値は、校種毎の集計値となります。

① あなたの授業では、児童生徒の理解の状況や習熟の程度に応じて補充的な学習や発展的な学習を行うなど、個に応じた指導の充実が図られていますか。(十分+概ね)



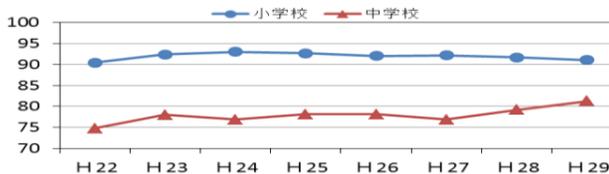
校種	県全体	自校の結果
小学校	61.5%	
中学校	50.6%	

② 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動や授業の最後に、学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。(よく+どちらかと言えば)



校種	県全体	自校の結果
小学校	めあて 98.3% 振り返り 91.0%	めあて
中学校	めあて 96.9% 振り返り 86.4%	振り返り

③ あなたは、日々の授業の中で、児童生徒が自分の思いや考えを書いたり、発表したり、また、児童生徒間で、問題解決の方法等について意見を交換する場を設けていますか。(多く+どちらかと言えば)

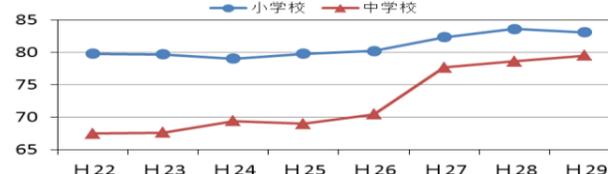


校種	県全体	自校の結果
小学校	91.1%	
中学校	81.3%	

## 意識調査(児童生徒用)

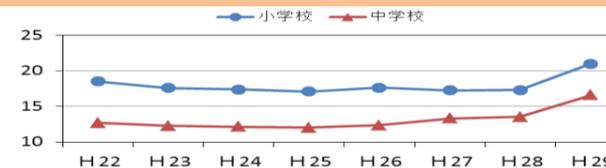
④, ⑤, ⑥の項目は、児童生徒の意識調査の結果から抜粋したものです。数値は、校種毎の全学年の集計値となります。

④ 勉強で分からない内容があったとき、先生や友達に聞いたり、調べたりするなど、理解できるように自分なりに努力していますか。(よく+まあまあ)



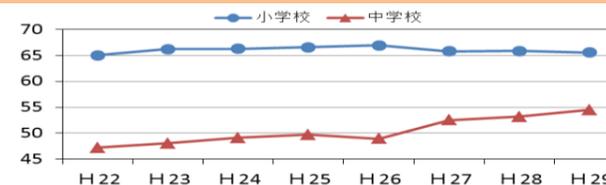
校種	県全体	自校の結果
小学校	83.1%	
中学校	79.5%	

⑤ 家で、学校の宿題のほかどんな勉強をしていますか。(自分で計画を立てて勉強している)



校種	県全体	自校の結果
小学校	21.0%	
中学校	16.4%	

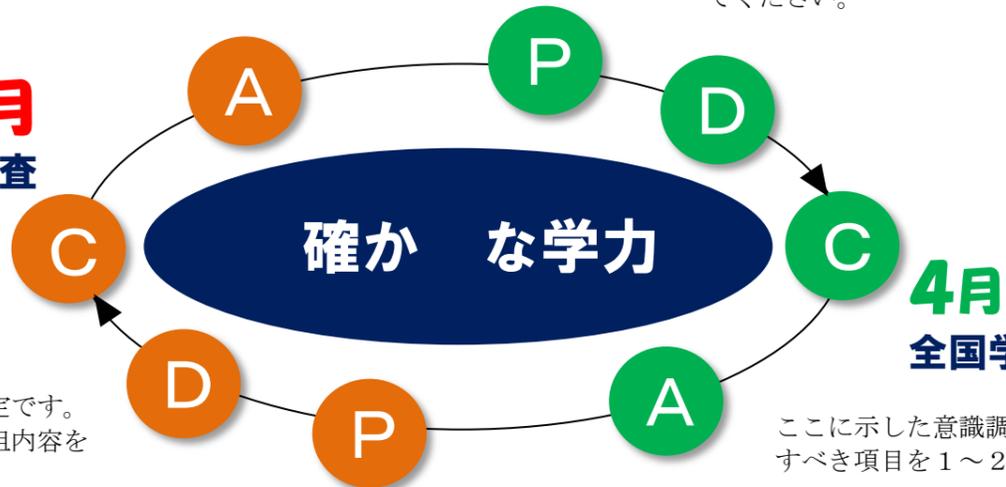
⑥ 授業で難しい内容を勉強したり、難しい問題に挑戦したりする時間をもっと増やしてほしいと思いますか。(とても+まあまあ)



校種	県全体	自校の結果
小学校	65.7%	
中学校	54.5%	

※ ①~⑥までの項目毎に、自校の結果を書き込み、学習状況の分析に活用してください。

12月 熊本県学力調査



4月 全国学力・学習状況調査

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月下旬に公表される予定です。その結果をもとに、自校の取組内容を検証し、必要があれば指標や目標値、取組内容を修正して、12月の熊本県学力調査へ向けて取り組みましょう。

ここに示した意識調査(教諭・講師用、児童生徒用)の項目の中から、自校において改善すべき項目を1~2項目程度選び、目標値を設定しましょう。

【自校で設定する指標】 9月~1月	現状値(目標値)	目標値(修正値)

【学校総体・個人で取り組む内容】(一点突破事項)(H30. . .)現在

学校総体	個人

【取り組んだ内容の評価】(H . . .)現在

学校総体	個人

【自校で設定する指標】 2月(4月)~8月	現状値	目標値

【学校総体となって取り組む内容】(一点突破事項)(H30. . .)現在

--

【個人で取り組む内容】(一点突破事項)(H30. . .)現在

--

改善が見られた内容

小学校国語

次に取り組む内容

六年 2 (5) (定着率 85.4%)  
 自校 (定着率 %)
   
 【ねらい】文意に合う接続語を選ぶこと。
   
 【問題】次のAとBの文を「つなぎ言葉」を使ってつなぎます。あとの①②の【 】の意味になるには、どのような言葉を入れますか。最も適切な「つなぎ言葉」を、あとのアからエから選びなさい。
   
 A 毎日、一生けん命リレーの練習をした。(つなぎ言葉)
   
 B 三位だった。
   
 ① 【三位になってうれしい。】
   
 ② 【三位になってくやしい。】
   
 ア しかし イ また
   
 ウ そして エ だから
   
 ア エ

五年 2 (3) (定着率 44.7%)  
 自校 (定着率 %)
   
 【ねらい】濁音や長音などが含まれる語を辞書に出でくる順に並べ、言い切りの形に直すこと。
   
 【問題】
   
 ① 次のアからエまでの言葉を国語辞典で調べます。三番目に出てくる言葉を選んで、その記号を書きましょう。
   
 ア ボール イ ポール
   
 ウ ボート エ ホール
   
 ② 「ごんは、あなの中にしやがんでいました。」の中の「しやがん」の言葉を国語辞典に出ている形(言い切りの形)に直して書きましょう。
   
 しやがむ

指導のポイント

以下に示す学習活動等を行い、語彙の指導の充実を図ることが大切です。

- 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる活動
- 他の教科等の調べる学習や日常生活の中でも積極的に辞書を利用して調べる活動

【小学校国語科の指導の重点】から

- 日常的な語彙の指導を継続する。
  - ・各領域の言語活動との関連、日常的な活動や生活との結びつきを意識し計画的に指導する。
- 日常的に読書に親しむために、学校図書館を計画的に活用する。
  - ・目的に応じて本や文章などを選ぶことができるようにする。
  - ・授業の中で、同じ作者の別の本や関連する資料など、様々な種類の文章を読む学習を行う。

改善が見られた内容

中学校国語

次に取り組む内容

一年 4 (2) (定着率 91.8%)  
 自校 (定着率 %)
   
 【ねらい】課題に応じた情報の収集方法を考えること。
   
 【問題】資料を読んで、知らない言葉や意味の理解があいまいな言葉について、国語辞典で調べて注をつけている。しかし、「茅葺き」の意味は、国語辞典で調べても具体的に分からなかったため、図書室で調べることにした。左図を参考に、必要な本の探し方を、二つ書きなさい。

一年 2 (5) (定着率 42.6%)  
 自校 (定着率 %)
   
 【ねらい】漢和辞典の使い方を理解し、漢字の構成について関心をもつこと。
   
 【問題】「潮」の漢和辞典の部首索引を使った調べ方を選びなさい。
   
 ア 最初に、部首(シ)で調べて、次につくり(朝)の十二画を調べる。
   
 イ 最初に、部首(シ)で調べて、次に(潮)の十五画を調べるとよい。
   
 ウ 最初に、部首(月)で調べて、次につくり(朝)の十画を調べるとよい。
   
 エ 最初に、部首(月)で調べて、次に(潮)の十五画で調べるとよい。

指導のポイント

以下に示す学習活動等を行い、語彙の指導の充実を図ることが大切です。

- 本等を読んで新しく出合った言葉を取り上げ、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を考える学習活動
- 語句の意味について調べたことを記録したり、その語句を使った短文を作ったりする学習活動
- 国語の学習の中や、他教科等の学習や日常の会話の中でも必要に応じて辞書を引くことの習慣付け

【中学校国語科の指導の重点】から

- 各領域の授業や実際の言語活動で、学習した言葉を活用させる。
- 日常的に読書に親しむために、学校図書館を計画的に活用する。

## 改善が見られた内容

## 小学校算数

## 次に取り組む内容

5年 2 (4) 県全体定着率 (80.5%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】 かけ算とわり算の相互関係から、計算の結果を確かめる方法が分かること。

【問題】  $3.2 \div 1.5$  を計算すると答えが2あまり0.2になりました。この答えが正しいかどうかを次のように確かめます。

ア  ×  イ +  ウ を計算して、 エ になるかどうかを確かめます。

上のアからエまでに入る数を「3.2」、「1.5」、「2」、「0.2」の中から選んで、その数を書きましょう。

5年 6 (1) 県全体定着率 (48.8%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】 単位量当たりの大きさを求める式の意味を理解していること。

【問題】 右の表から、あといの式を書きました。

あ  $12 \div 9$   
い  $5 \div 8$

	人数(人)	たたみのまい数(まい)
A	9	12
B	5	8

あといの式は、何を表していますか。

ア Aの部屋の1人あたりのたたみのまい数  
イ Aの部屋のたたみ1まいあたりの人数  
ウ Bの部屋の1人あたりのたたみのまい数  
エ Bの部屋のたたみ1まいあたりの人数

## 指導のポイント

以下に示す学習活動等を行い、単位量当たりの大きさを求める意味を理解できるようにすることが大切です。

- 単位面積当たりの人数か、単位人数当たりの面積で比べるか話し合う活動
- それぞれの場面を図に表し、図を基に式を読み取る活動

【小学校算数科の指導の重点】から

- 日常の授業の中で言葉や式、図、表、グラフを用いて表現(説明・記述)する活動を位置付ける。

## 改善が見られた内容

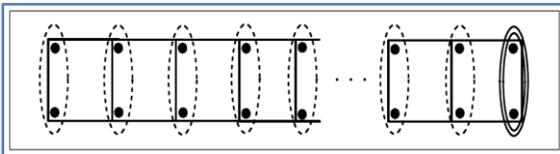
## 中学校数学

## 次に取り組む内容

1年 6 (2) 県全体定着率 (71.5%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】 式の意味を捉え、式が表している数量を説明することができること。

【問題】

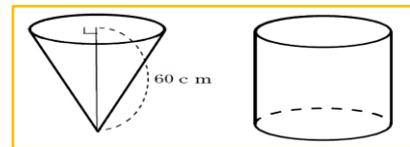


上の図のような囲み方で考えると、台紙を  $n$  枚貼ったときに必要なピンの数は、 $(2n + 2)$  という式で求めることができると考えました。必要なピンの数が  $(2n + 2)$  になる理由について、説明しなさい。

2年 2 (7) 県全体定着率 (38.0%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】 円柱と円錐の体積について理解していること。

【問題】



上の図は、円すいと円柱の形をした容器です。それぞれの容器の底面は合同な円で、高さは60cmで等しいことが分かっています。この円すいの容器いっぱいに入れた水を円柱の容器に移したとき、円柱の容器に入った水の高さは何cmになるか答えなさい。

## 指導のポイント

以下に示す学習活動等を行い、柱体と錐体の体積の関係を理解できるようにすることが大切です。

- 柱体と錐体の体積の関係を予想し、模型を用いた実験による測定を行って確かめる活動
- 「錐体の体積の3倍が柱体の体積」、「柱体の体積の $\frac{1}{3}$ 倍が錐体の体積」になることを表現する活動

【中学校数学科の指導の重点】から

- 適用問題や振り返りを位置付け、生徒が確実に理解できたか見取る。

## 改善が見られた内容

## 中学校社会

## 次に取り組む内容

2年 2 (5) 県全体定着率 (82.6%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】資料から、中国の農業の特色を読み取ることができること。

【問題】由貴さんは交流学習会に参加し、シャanghaiで家族が農業を営んでいる王さんから話を聞き、中国と日本の農業について調べることにしました。資料10、資料11をもとに、中国の農業の特色を日本と比較して説明しなさい。

【資料10】農産物の生産量 (2012)

	小麦	米	とうもろこし
中国	12058万t	20429万t	20813万t
日本	86万t	1065万t	200t

【世界国勢協会2014/15より作成】

【資料11】農業規模と自給率 (2011)

	国土面積に占める農地の割合	一人当たりの農地面積	農産物自給率
中国	54.1%	1.0ha	100%
日本	12.1%	3.4ha	21%

【世界国勢協会2014/15より作成】

2年 4 (3) 県全体定着率 (30.9%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】島原・天草一揆が起きた時期を、年表を見て当てはめることができること。

【問題】由貴さんは、熊本で起きた、幕府に大きな影響をあたえた右のカードXのできごとについて、年表中の日本のできごとに入りたいと考えています。年表中のAからDのうち、どの時期に当てはまるか、記号で答えなさい。

1615年 武家諸法度が出される

⇕ A

1635年 日本人の海外渡航と帰国の禁止

⇕ B

1639年 ポルトガル船の来航禁止

⇕ C

1641年 オランダ商館を出島にうつす

⇕ D

X (島原・天草一揆)

天草四郎という少年を大将にして一揆を起し、幕府や藩の大軍と戦った。

## 指導のポイント

以下に示す、「年表を読み取る」際の視点をもたせることが大切です。

- どの時代の、いつごろの出来事か、だれが、何をしたのか、どこで、何が起きたのかなど、歴史上の個々の出来事や歴史の流れを的確に読み取る。
- 出来事よりも前の出来事と比較し、何がどう変わったのか(変化)を読み取る。
- 変化はなぜ起こったのか(原因や背景)、出来事によって何が変わったのか(結果や影響)を考える。
- 出来事に関する詳細な資料から、目的に応じた情報を選別して読み取り、知識の理解の質を高める。

## 改善が見られた内容

## 中学校理科

## 次に取り組む内容

2年 3 (2) 県全体定着率 (80.2%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】物質の性質が異なることから、分解によって違う物質が生成したことを理解していること。

【問題】発生した気体が二酸化炭素であると考えた根拠となる操作と結果を選びなさい。



	操作	結果
ア	気体のおいを調べる。	刺激臭がする。
イ	気体を集めた試験管に、火のついた線香を入れる。	線香の火が消える。
ウ	気体を集めた試験管に、マッチの火を近づける。	ポツという音を立てて燃える。
エ	気体を集めた試験管に、石灰水を入れて振る。	白くにごる。

1年 1 (5) 県全体定着率 (26.5%)  
自校の定着率 ( )%

【ねらい】花のつくりの多様性と共通性に気付き、そのつくりから働きを推論していること。



【問題】

タンポポ、アブラナの観察を終え、ナズナの体のつくりについて考えました。図のXの部分は何か選びなさい。

ア花 イ葉 ウやく エ果実

## 指導のポイント

以下の点に留意し、植物の体のつくりの多様性と共通性に気付かせ、つくりと働きを関連付けることが大切です。

- 異なる種類の植物の花を観察し、花には決まったつくりがあることに気付かせること。
- 受粉すると子房や胚珠が大きく成長し、子房は果実に、胚珠は種子になることから、花は種子をつくる器官であることを理解させること。
- 【中学校理科の指導の重点】から
- 日常生活において、学習した知識・技能を活用させる。

## 改善が見られた内容

## 中学校英語

## 次に取り組む内容

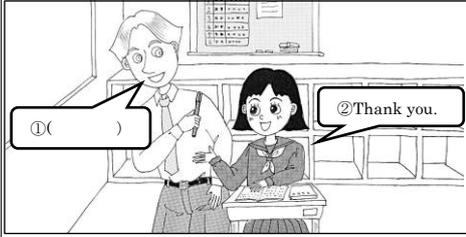
1年 7 (2) 県全体定着率 (51.7%)  
 自校の定着率 ( ) (%)

【ねらい】その場の状況から、適切な英文で応じること。

2年 7 (1) 県全体定着率 (29.9%)  
 自校の定着率 ( ) (%)

【ねらい】チラシの内容を参考にして会話文を読み、適切な英文を書くこと。

【問題】( )に入る英語1文を3語以上で書きなさい。



スミス先生は、授業中に、クミのペンを拾いました。

【正答例】  
 Here you are.  
 It's a nice pen. など

【問題】対話文中の [ ] に適する英語を書きなさい。  
(前文略)

Yui : A famous writer, Matsuda Yuki, will have a talk show. Do you know her?

Mr. Jackson : Yes. I'm a big fan of her. I want to take pictures of the show.

Yui : Well, sorry but [ ] .

Mr. Jackson : OK, I understand.  
(後文略)

【正答例】 you can't take pictures. など

## 指導のポイント

以下に示す、イラストや写真等の内容を説明・描写する活動や、説明した内容に自分の意見や考えを加えて表現する活動などを、年間を通して計画的・段階的に実施することが大切です。

【活動例】

- 日本の道路標識や地図記号の意味をALTに伝える活動
- ある場所(部屋・公園・動物園など)の写真をもとに、その状況を相手に伝える活動
- 実物や写真を見せながら、説明したり思いを伝えたりする活動(いわゆる「Show & Tell」)
- 物語を聞いたり読んだりして、その後の展開について予想し、相手と即興で対話する活動 など

# 4

## 学力向上を支える取組

### 「個に応じた指導」を充実させましょう

- 児童生徒のつまづきに応じた解決方法を示す。
- 「分かったこと」が「できるようになる」まで繰り返し練習させる。
- 「もし、～だったら」と考えを広げる方向性を示し、発展的に考える場を設ける。

### 「家庭学習」を充実させましょう

- 年間を見通した、計画的な内容と量にする。(学校で統一、学年・教科間の調整)
- 提出と返却のシステムを決める。(提出先、時間、返却方法 など)
- 提出された内容は、必ず点検する。

### 「小中連携した取組」を進めましょう

- 教育課程や学習習慣等の面で、系統性を踏まえた指導を行う。
- 授業(学習)スタイルの共通化を図る。

## 「授業改善」のためのチェックリスト

- 授業改善に向けてこのチェックリストを定期的に自分で確認したり、校内研修等で授業を公開する際に互いに確認し合ったりするなどして、振り返りましょう。
- 本チェックリスト及び学校全体用チェックリストは、県教育委員会HPにも掲載しています。

### 授業改善に向けて【教諭・講師用チェックリスト】(サンプル)

※振り返る月を設定しましょう。

	取組の内容	月	月	月
課題意識	県学力調査や全国学力・学習状況調査等で明らかになった児童生徒の課題について理解している。			
	学校の学力向上の共通実践事項について、常に意識して取り組んでいる。			
	全国学力・学習状況調査や県学力調査で出題された内容について把握している。(教科書に付箋を貼るなど)			
日々の授業	教材研究のもと、学習のねらいや授業展開、評価基準等を明確にして、熊本型授業に取り組んでいる。			
	授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示している。			
	児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や教材の工夫等を行っている。			
	授業において、自分の調べたことや考えたことを分かりやすく文章に表現する(文章に書く、図や表に表すなど)学習を位置付けている。			
	主張点や根拠・理由を明確にして表現したり、互いの考えに学び合ったりするなどの言語活動を位置付けている。			
	授業の最後に、学習したことを振り返る活動や学習のまとめを位置付けている。			
	1時間の学習内容について適用問題を位置付けるなど、学習の定着を図る時間を適切に位置付けている。			
	1時間の学習の流れが分かるような板書や学習環境の工夫に取り組んでいる。			
補充指導・日常指導	評価活動を適切に位置付け、補充指導や発展的指導等、個に応じた指導に取り組んでいる。			
	全国学力・学習状況調査や県学力調査(ゆうチャレンジ)の過去問題、全国学力・学習状況調査過去問題(単元別・領域別)を授業や補充指導に活用している。			
	家庭学習の手引き等をもとに、家庭学習の方法について具体的に指導し、適切な評価と指導を行っている。			
	学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底している。			

例:◎, ○, △の三段階で評価

### 県教育委員会が提供している資料

- 熊本県学力調査結果
- 熊本県学力調査(ゆうチャレンジ)課題克服プリント
- 全国学力・学習状況調査過去問題(単元別・領域別)
- 国語指導の手引き
- 基礎学力向上のための学習プログラム「学びっ子」
- 教科等指導の重点
- 小学校用英語教材「I CAN DO IT! Junior」
- 中学生英語音声CDテキスト「I CAN DO IT!」
- 熊本版英語読み物資料「The Spirit of KUMAMOTO」
- 英語授業づくりのポイント
- 「KUMAMOTO English Standard」

#### 【問合せ先】

熊本県教育庁教育指導局義務教育課義務教育指導係

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

TEL: 096-333-2688 <http://kyouiku.higo.ed.jp>